

私の生涯学習①



佐久間 さん

高齢化社会に突入しつつある今日、ただ無為に日々を過ごすことなく行きたいものです。知識の修得に講演を聞いたり、公民館の催し物に参加したり、図書館を利用して本を読んだり、さらに地域のクラブ活動に参加して、自分の好きな趣味や健康づくりなどに飛び込んでいく心構え

生涯学習に思うこと

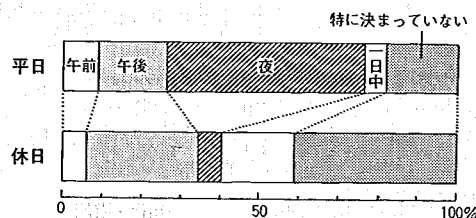
中沢町 佐久間

宏

「仲間づくり」のきっかけができたということでした。

が大切であると思います。さて、私は県主催の生涯学習シルバークレッジに参加させていただきました。主催者のあいさつに、一つは自己研鑽の場に、二つは地域活動に役立ててもらいたいという話がありました。しかし、学習を終了した方に学習内容を聞きましたが、はつきりした返事はありませんでした。私

問 1-2 その時間帯は、主にどの時間帯ですか。



□平日の場合

「夜」と答えた人が、50.1%と圧倒的多数を占めました。性別で見ると、「午前」「午後」と答えた人は、男性22.8%、女性28.7%に対し、「夜」と答えた人は、男性53.8%、女性43.5%。この結果からは、男性は夜中心、女性は昼夜兼用の自由時間となっています。

□休日の場合

「特に決まっていない」(41.2%)、「1日中」(18.7%)と、約6割の人が時間帯に拘束されない自由時間をもっています。しかし一方で、午後を自由時間にあてると傾向も強く表れています。

性別で見ると、男性に比べ女性は「午前」「午後」に自由時間をもつ人の割合が高く、女性の方が時間を固定化していることがわかります。

年代別にみると、20代は「1日中」、高齢層は「特に決まっていない」の比率が高くなっています。

地域別で見ると、阿賀満日・新関・荻川では「午後」と答えた人が30~40%と最も多く、小合・市街地南部・中央部では50%前後の人が「特に決まっていない」と答えるなど特徴的でした。

問 1-3 その時間帯は、主にどんなことに使っていますか。(複数回答)

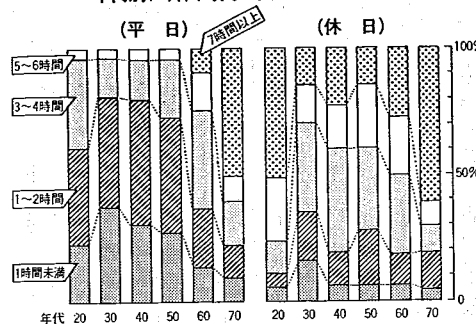
平日、自由時間を何に使っているのかをたずねたところ、「テレビ・ラジオの視聴」(31.7%)、「新聞や本を読む」(25.6%)、「家族との団らん、散歩、ショッピング」(14.9%)が全体の約7割を占めました。しかし、休日になるとこの傾向はいくぶん弱くなり、過ごし方も多様におよぶようになっています。特に「家族との団らん」「散歩」「ショッピング」「趣味」などに自由時間を使う人が多くなっています。

年代別で見ると、20代で「旅行」、30~40代で「家族との団らん」など、50~60代・70以上で「テレビ・ラジオの視聴」が多く、各世代の生活形態が表れています。

現在、自由に使える時間(趣味・教養・スポーツなどに使える時間)がどのくらいありますか。

1-1

年代別に自由時間の長さを見てみると



□平日の場合

「1~2時間」(36.9%)または「1時間未満」(25.2%)と答えた人が、全体の6割を占めています。

性別で見ると、この傾向に変わりありませんが、女性の自由時間の方が男性に比べやや長くなっています。

年代別で見ると、上のグラフのように、20~50代では「1~2時間」、60代では「3~4時間」と答える人が多く、70以上では「7時間以上」と答えた人が50%近くになっています。高齢層に自由時間が多いことがわかります。

□休日の場合

「3~4時間」(30.0%)、「7時間以上」(26.3%)、「5~6時間」(20.3%)の順ですが、全体で約8割の人が3時間以上の自由時間があると答えています。

性別で見ると、平日とは逆に、男性の方に自由時間が多いようです。3時間以上自由時間がある人は、男87.8%に対し女性は66.5%。休日は、男性にとっては自分の時間であり、女性にとっては家事や買い物という平日の繰り返しという傾向がうかがえます。

年代別には、20代と70以上での自由時間が特に長い傾向にあり、「7時間以上」と答えた人は、これらの年代では2人に1人を超えています。

地域別では、自由時間は、阿賀満日・新関地区で少し短く、市街地でやや長いという結果でしたが、全体としてあまり差異はありませんでした。

生涯学習を考えよう

市民の意識調査結果①



生涯学習で生き生きと生活したい。学習というと学校の勉強のようなものを考えてしまいがちですが、それは違います。生涯学習とは、がむしゃらに学ぶだけでなく、趣味やスポーツを含め、生涯を通じて生活の向上や生きがいを求める学習全般をいいます。このため、市民2千人を無作為に抽出し実施した「市民の生涯学習に関する調査」の結果がまとまりました。今号から数回にわたり、新津市の生涯学習の現状をご紹介します。

生涯学習に関する市民意識調査

(市教育委員会)

- 対象 20歳以上の市民
- 標本数 1,000人
- 抽出法 選挙人名簿からの無作為抽出(性別・年齢別・地域別人口に応じ、1,000人を比例配分)
- 調査方法 郵送法
- 調査期間 平成2年5月1日~5月18日
- 回収率 44.0%

広島、長崎に原爆が投下されてから四十五年になります。両市では、今年も被爆の日、犠牲者の慰霊と平和祈念の式典を行うとともに、全国民に「黙とう」を呼びかけています。時間は、広島が八月六日の午前八時十五分、長崎が八月九日の午前十一時二分です。当市は、昭和六十年に「非核平和都市宣言」を行い、平和なまちづくりをめざしています。皆さん、この日、原爆で亡くなられた人の霊を慰め、恒久の平和を願い、それぞれの家庭や職場で黙とうされるようお願いいたします。

原爆犠牲者の黙とう

お買物、ご用命は市内で

新製品好評発売中



日本海名産 甘じり

北国小僧

登録商標

にいつ 味のサカヤ

コーヒ一祭り 100g 280円 8月3日(金)・4日(土)・5日(日)の3日間

本町2 ☎22-0112

あなたの安心を企画する

有限会社 樋口保険企画

☎0250-22-6774 FAX0250-24-9110

☎956 新津市金沢町3丁目7番20号

自然を化学する!! 薬草化粧品

Jピピ

新津駅前

都会で人気No1 貴女も東京通になろう!

お肌が弱い方、くすみや日焼けシミ・ソバカス・色黒の予防に、小じわやたるみ、かさつきに、若く輝きのある素肌が生れます。

1品でも配達(発送)致します。

化粧品・化粧品を揃えています。

24-2186